

5Gの産業応用市場の調査結果を発表

Japan, 2019年8月28日 - IT専門調査会社 IDC Japan 株式会社（所在地：東京都千代田区九段北1-13-5、代表取締役社長：竹内正人、Tel代表：03-3556-4760）は、5G（第5世代移動通信システム）の産業向け画像 / 映像IoT（Internet of Things）市場に関する分析を発表しました。これによると、4K/8Kなどの高精細画像 / 映像の伝送が、産業分野における5Gの最大のユースケースの一つであることが分かりました。

5Gでは、高速大容量、超高信頼低遅延、多数端末接続などの実現が期待されています。中でも、4G（LTE）からの最も大きな進化の一つがアップリンク（上り）の高速化であり、これを最も生かすことができる産業分野の用途として、高精細カメラやイメージセンサーで取得した画像 / 映像データのアップロードが挙げられます。5Gによってこのような大容量データのクラウド送信のハードルが下がることで、データ分析 / 活用のさらなる高度化が期待されます。より具体的には、（1）4K/8K高精細映像コンテンツのリアルタイム配信、（2）機械学習による画像認識、（3）3Dモデリングによる新たな価値提供のユースケースにおいて、5Gの活用が進むとIDCでは分析しています。

ただし、5Gの本格普及には、通信モジュールの低価格化や基地局の配備で、サービス提供開始から数年を要すると考えられます。また企業などにおいて5Gの需要が増加するには、解像度の高い画像 / 映像アプリケーションの利用拡大や、センサーで取得した画像をAI（Artificial Intelligence）で分析するなどのイノベーションの進展が必要となります。

IDCでは、早期に5Gの導入が進む産業分野の条件として、（1）生産性を高めるための設備投資に積極的である、（2）画像 / 映像活用の取り組みが成熟している、（3）特定企業の管理責任下で変革に取り組むことができる、の3つを挙げています。（1）については、製造業における製品検査のためのマシンビジョンを始め、すでにイメージセンサーを活用した生産性向上や自動化に投資をしてきた産業分野の企業が、さらなる生産性向上に向けて5GやAIなどが積極的に導入すると予測しています。（2）については、イベントのリアルタイム中継、パブリックビューイング、高精細VR（Virtual Reality）コンテンツ配信など、新たな映像価値提供への取り組みが進むと考えられます。（3）については、5Gは今後、車両、ロボット、ドローンなど自律移動する機器に多く搭載されますが、これらの自律移動機器の普及は、その安全性に関する法制度整備の影響を受けると分析しています。

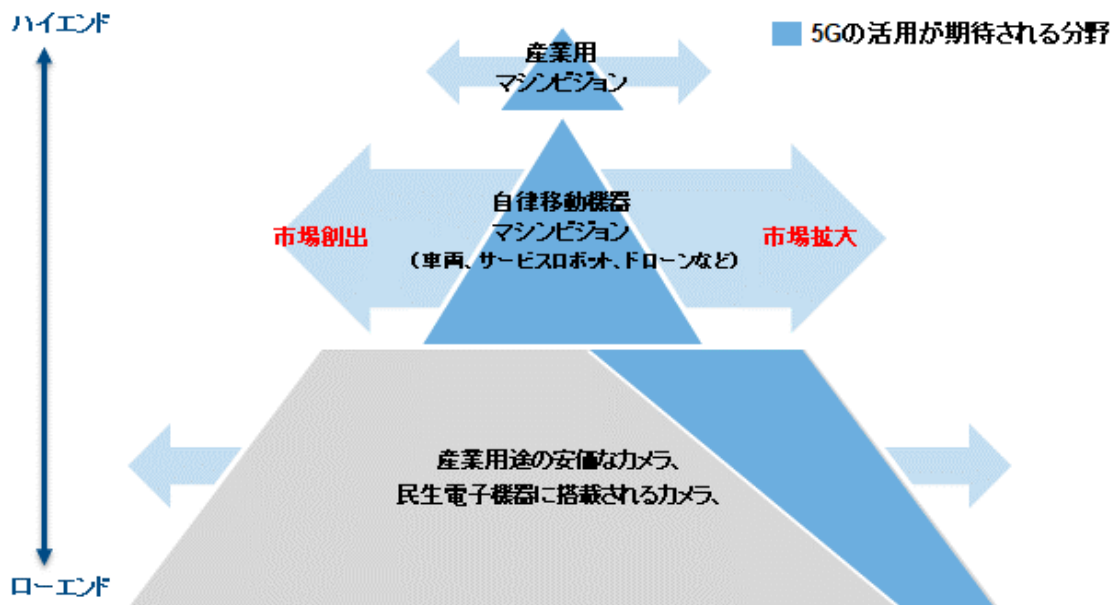
5Gでは、全国への基地局の面的展開に加えて、イベント会場や企業構内などその場の需要に応じたスポット展開も進むと予測されます。後者については、MNO（Mobile Network Operator）による5G通信サービスと、MNO以外による「ローカル5G」（エリア限定免許による5G）の構築／運用が競合するケースも多いとIDCでは予測しています。IDC Japan コミュニケーションズ リサーチマネージャーの小野 陽子 は「5Gに対するニーズは、産業や場所によって大きく異なる。高解像画像／映像を活用し先進的な取り組みを行う企業で5Gの導入が速く進む。MNOもローカル5G提供事業者も、このような先進企業を5Gの初期のターゲットに含めるべきである」と分析しています。

今回の発表はIDCが発行した2019年国内産業分野向け5G市場動向分析：5Gが加速する4K/8K高精細映像の産業応用にその詳細が報告されています。本レポートでは、5Gを活用した高精細画像／映像の産業応用に焦点を合わせ、5Gの市場性や課題などについて分析をしています。

< 参考資料 >

カメラ／イメージセンサー市場における5Gの活用

Figure 1



Source: IDC Japan, 8/2019

About IDC

IDC is the premier global provider of market intelligence, advisory services, and events for the information technology and telecommunications industries. IDC helps IT professionals, business executives, and the investment community make fact-based decisions on technology purchases and business strategy. Over 775 IDC analysts in 50 countries provide global, regional, and local expertise on technology and industry opportunities and trends. For more than 40 years, IDC has provided strategic insights to help our clients achieve their key business objectives. IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. You can learn more about IDC by visiting <http://www.idc.com/>.

IDC is a subsidiary of IDG, the world's leading technology media, research, and events company. Additional information can be found at www.idc.com.

All product and company names may be trademarks or registered trademarks of their respective holders.

For more information contact:

jp-Press Japan
jp-press@idcjapan.co.jp
+81-3-3556-4768